

外国語活動の指導に関する研究

－外国語活動の単元を構成するためのコンテンツの開発－

義務教育研修課 主任指導主事 山下 勝幸
指導主事 井上 貴至
高校教育研修課 指導主事 松本 久永

はじめに

平成23年の小学校学習指導要領の全面实施により、高学年で外国語活動が導入された。その2年後となる平成25年12月には、文部科学省の「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」が公表され、小・中・高等学校を通じた英語教育全体の抜本的充実を図ることが示された。その中で、小学校においては、中学年で週1～2コマ程度の活動型を開始し、高学年では週3コマ程度の教科型を実施することが提案されるなど、教員の更なる指導力の向上が求められている。

本稿ではこれらの現状や教員の外国語活動における意識や取組状況を踏まえ、外国語活動における教員の指導力向上に向け、単元を構成するためのコンテンツの在り方について述べる。

1 外国語活動の指導に関する現状

文部科学省等が行った調査によると、多くの小学生が英語の学習が好きで英語が使えるようになりたいと考えており、多くの中学生は小学校外国語活動が中学校外国語科の学習に役に立っていると感じていることが示されている。また、中学校教員は、外国語活動導入前と比べて、中1の生徒に成果や変容が見られると感じている。一方、小学校教員は外国語活動の実施に当たって、「準備や打合せの時間の確保」「教員の指導力」を課題として感じている。さらに、小学校高学年の児童については、抽象的な思考力が高まる段階であるにもかかわらず、体系的に学習を積んでいないがために、学習内容に飽き足らない状況が見られる¹⁾。

また、当所で実施している研修講座で教員の外国語活動に対する意識や取組状況を調査したところ、外国語活動の時間には、児童は生き生きとゲーム等に取り組んだりALTに自分から話しかけたりする等、積極的な姿勢が見られることが分かった。一方、課題として、外国語活動の時間はゲームを楽しむ時間だと感じている児童も多く、コミュニケーション活動になると消極的になる様子が見られる。外国語活動を指導することについて不安を感じている多くの教員が「外国語活動における評価」や「授業計画を立てること」について不安を感じており、教員は『Hi, friends!』を使うことで、何とか1時間を終えていることが分かった。

2 コミュニケーション能力の素地を養う外国語活動の単元を構成するためのコンテンツの作成

(1) コンテンツの作成に向けて

外国語活動では、単元終末で、どのようなコミュニケーションをする姿が求められているのかを子どもが理解して見通しを立てて授業に臨むことが大切である²⁾。『Hi, friends!』で設定されている単元の多くはまとめとして自分の考え等を表現する活動(Activity)が設定されており、それまでの活動で単語や表現を身に付ける構成になっている(図1)。し

かし、聞き取り調査等から、教員は1時間の授業を行うこと

に意識が向いており、単元全体を通して「○○ができるようにさせたい」「この時間には○○を身に付けさせたい」という意識を持つまでに至っていないことがうかがえた。そのため、単元目標や各時間の目標を明確にすることができず、それが評価への不安にもつながっていることが分かった。一方、児童については「何のためにその活動を行っているのか」「今、行っている活動が次の活動にどのようにつながるのか」などを意識せず

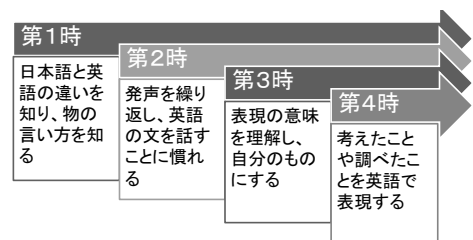


図1 単元構成例

に活動しているため、知的好奇心を満たすことができていないと推察できる。

以上の状況を踏まえ、教師、児童ともに見通しを持つことができ、単元ごとにそれぞれの活動を結びつけるためのコンテンツが必要であると考え（図2）。

(2) コンテンツの概要

コンテンツを作成するに当たり、①『Hi, friends!』をベースにすること、②教員の指導経験等を考慮し、『Hi, friends!』そのものを使用するものと『Hi, friends!』を基に、教師が単元構成を考えるものとを2種類作成すること、③教員が「実際に活用できる」「使ってみよう」と感じられる工夫を取り入れることの3点に留意した。そうすることで、本コンテンツの活用が広がり、多くの教員が自信をもって外国語活動の指導ができると考えたからである。

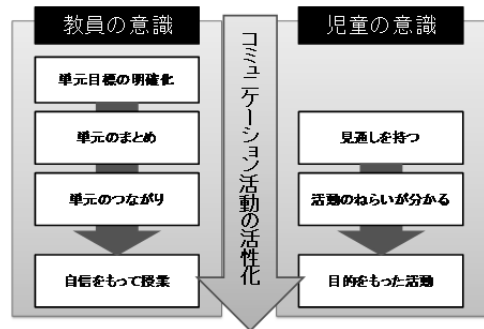


図2 教員、児童の意識

ア 『Hi, friends!』の単元のつながりを考えるためのコンテンツ（本文59ページ参照）

本コンテンツでは学習指導要領に示された目標の三つの柱及び『Hi, friends!』指導編に示された単元目標を踏まえ、単元のまとめとして設定された活動（Activity）に向けて毎時間の目標及び『Hi, friends!』内に示された活動の設定を考える。そうすることで教員は単元のつながりを認識し、本時のねらいを明確にすることができる。

単元計画作成については『Hi, friends!』の単元の数字を入力することで単元名及び単元目標が表示されるよう入力支援を行うなど、作業軽減を図り、使用しやすいものとなっている。【Step 1】

イ 『Hi, friends!』をベースに児童の興味関心にあわせた単元を開発するコンテンツ（本文60ページ参照）

本コンテンツでは『Hi, friends!』の題材をもとに単元目標を定め、Lessonの最後に行う時間の目標及び活動を設定する構成としている。このことにより、それまでに児童がどんな力を付けておく必要があるのかを考え、段階的に計画を立てることができる。その結果として、クラスの児童の実態に応じて活動や教材に工夫を加えることができ、より効果的な外国語活動を行うことができる。

時間ごとにゲームの例等がリンク表示されることで、各時のねらいに応じた活動を設定することができ、児童の意欲をより高める授業が組み立てやすくなっている。【Step 2】

おわりに

本コンテンツでは、学習指導要領の目標に基づいて単元目標や各時間の目標を設定することができ、そのことを通して各時間のねらいを見つめ直すことができる。外国語活動の指導に不安を感じている教員の多くは、1時間の授業を行うことに精一杯であるが、本コンテンツを活用することで、単元構成や1時間の授業構成を俯瞰し、自信を持って指導することができる。これにより、教員の多くが見通しを持った外国語活動の授業を行えるだけでなく、児童も一つ一つの活動のねらいを意識しながら積極的に学習に取り組むことにもつながると考える。来年度、本コンテンツの実践・検証を行い、コンテンツの改善につなげるとともに、効果的な活用の在り方についても研究を継続する予定である。本研究の成果が、各学校の外国語活動の更なる充実のための一助となれば幸いである。

注)

- 1) 英語教育の在り方に関する有識者会議（第3回）（2014. 4. 13）【資料3－1】「小学校における外国語活動の現状・成果・課題の内容」を整理して示している。
- 2) 直山木綿子「外国語活動の授業における『見通す・振り返る』学習活動」初等教育資料（2014. 4月）文部科学省 P. 56～P. 59

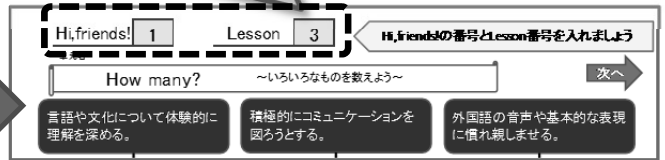
『Hi, friends!』の単元のつながりを考えるためのコンテンツ

【Step1】



表紙

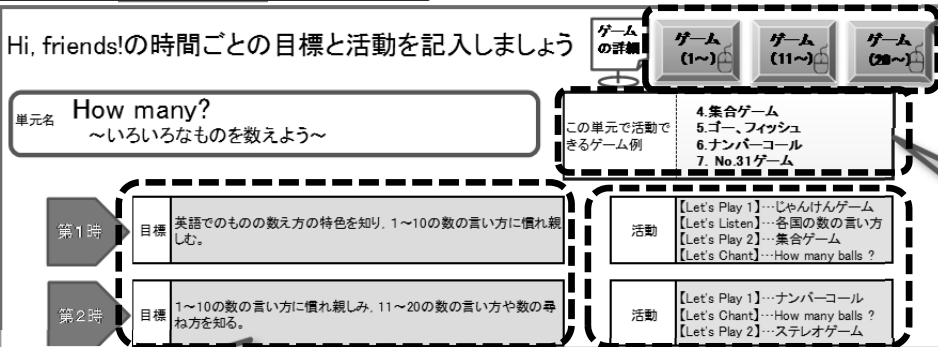
『Hi, friends!』と Lesson の番号を選択します



印刷画面

番号を選択すると、「単元名」「単元目標」が自動的に表示されます

【Step2】



目標と活動の記入画面

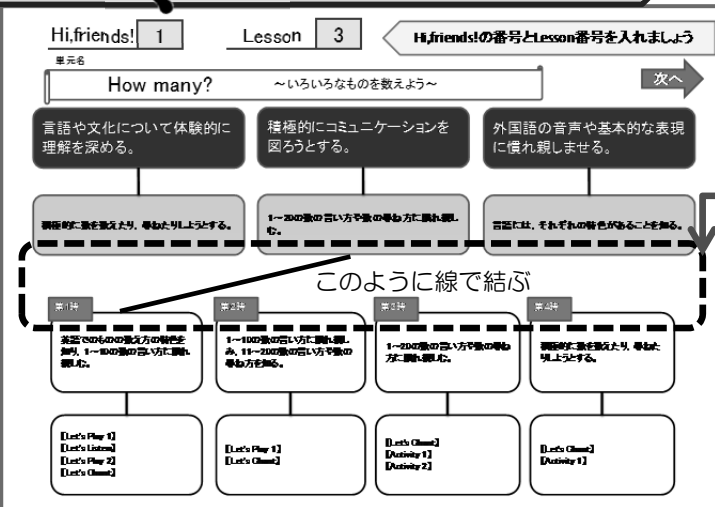
各ゲームのデータベースにジャンプします
※ゲームの進め方等がわかります

この単元で活動できるようなゲーム例が自動的に表示されます。テキストの内容に追加して児童の関心を高めることができます

Hi, friends! 関連資料を参考に1時間ごとの目標を考え、記入します

1時間の目標に応じた活動を考え、記入します

【Step3】



印刷画面

単元目標と本時の目標を線で結びます

Point 単元目標と本時の目標を結びることにより各時間の活動のねらいが明確になります

Point ねらいが明確になると見通しを持って指導できます

コンテンツは兵庫県立教育研修所の Web ページからダウンロードできます。

兵庫県立教育研修所

検索

『Hi, Friends!』 をベースに児童の興味関心にあわせた単元を開発するコンテンツ

【Step1】

表紙

『Hi, friends!』と Lesson の番号を選択します

指導要領の目標から単元の目標を考えましょう!

Hi, friends! Lesson

言語や文化について体験的に理解を深める。

積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

単元目標記入画面

学習指導要領の目標に準じた「単元目標」を考え、入力します

【Step2】

では、この Lesson の目標と終末の活動を考えてみましょう(第4時)

第4時

考えたことや調べたことを英語で表現する

Lessonの目標はこのLessonで学んだ表現等を使い、自分の考えたこと等を表現したり他人の考えたこと等を聞いたりすることです。

単元の終末では、このLessonで学んだ表現等を使い、自分の考えたこと等を表現したり、伝えたこと等を伝えます。

単元終末の活動例

本時の活動の参考となる情報にジャンプします

目標を記入

1時間ごとの目標を考え、記入します

単元終末の活動を記入

1時間の目標に応じた活動を考え、記入します

目標と活動の記入画面

【Step3】

Hi, friends!

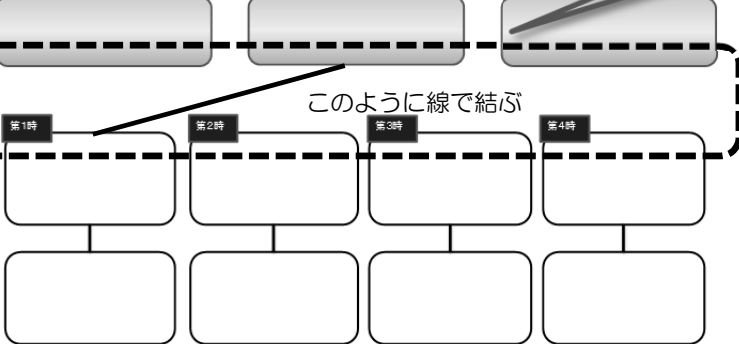
Lesson

言語や文化について体験的に理解を深める。

積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。

単元目標と本時の目標を線で結びます



印刷画面

Point

単元目標と本時の目標を結ぶことにより各時間の活動のねらいが明確になります

Point

単元終末の目標と活動までのステップが明らかになります

コンテンツは兵庫県立教育研修所の Web ページからダウンロードできます。

兵庫県立教育研修所

検索